



わくわく！図書だよ

飯豊町立第一小学校 令和6年 7月25日 図書担当 家庭数



ブックフェスティバルで 読書をもっと身近に！

6/25～7/2の約2週間で、図書委員会のイベント「ブックフェスティバル」を開催しました。全校生にもっと本を身近に感じてほしいという思いから、図書委員が考えた企画は「図書トーク」。図書委員が主体となって、1～2年生には絵本の読み聞かせ、3～6年生にはブックトークを行いました。

少し緊張した様子も見られましたが、みんなの前でおすすめの本を紹介する姿は堂々たるものでした。図書トークを聞いた子どもたちも、図書委員の読み聞かせにしっかりと耳を傾け、ブックトークで紹介した本をさっそく借りていくなど、とても充実した読書期間になったようです。

あ～すまいり～ずさんによる 読み聞かせ



今年度も、あ～すまいり～ずさんによる読み聞かせを行っていただいています。子どもたちが本に興味を持てるように、様々なジャンルの本を読んでいただいたり、興味を引くような表現の仕方でも読み進めていただいたりしています。読み聞かせをきっかけに、本をさらに好きになってもらいたいと思います。朝の時間に本に親しむ時間を設けることで、落ち着いて1日をスタートすることができています。

今年度も本校では、校是にある「美しい心」を育むために、読書活動に力を注いでいきます。また、山形県や飯豊町では「毎月第3日曜日は親子読書の日」として、家族で楽しむ読書を推進しています。ぜひご家庭でも、お子さんと一緒に本を広げる時間をつくっていただけたら幸いです。

裏面のかぞく読書の感想もご覧ください

かぞく読書へのご協力ありがとうございました

読んだ本『おまえうまそうだな』(1年)

〈ぼく・わたしの感想〉

ていらのさうすが おしえることがなくなって おわかれするのがかなしかったです。

〈おうちの人の感想〉

小さい頃から本人も親も気になっている本を選びました。凶暴だけど照れ屋で、不器用だけど優しい主人公の気持ち寂しかったです。

今後も親子で本を読み合って、感想を伝え合いたいと思います。



読んだ本『にげだしたパンケーキ』(2年)

〈ぼく・わたしの感想〉

人やどうぶつからパンケーキがころがってにげたのがおもしろかったです。

〈おうちの人の感想〉

大好きなパンケーキの話を選んできました。読み終わった後に、「ぼくだったら、車でおいかけ、通行止めにして、食べるよ」との感想が聞かれ、楽しい読書の時間を過ごせました。

読んだ本『だるまさんが』(3年)

〈ぼく・わたしの感想〉

「だるまさんが どてっ」のところで、いもうとがわらっていておもしろいんだとわかりました。

〈おうちの人の感想〉

妹のために本を読んでくれました。妹がわらうと、何度も読んでくれました。「だるまさんが どてっ」では、2人もまねをしていました。とてもほほえましい時間を過ごすことができました。



読んだ本『暗号クラブ 2』(4年)

〈わたしの感想〉

私は、最後の方の黒い服にサングラスに口ひげのついた男があらわれたときに、少しどきどきしました。でも、助けてといひ、助けをよんで無事だったのでよかったです。

〈おうちの人の感想〉

200ページ以上の長編の本を集中して読むことができました。お友達と謎解きをしながらすすむお話で、おもしろい本だなと思いました。



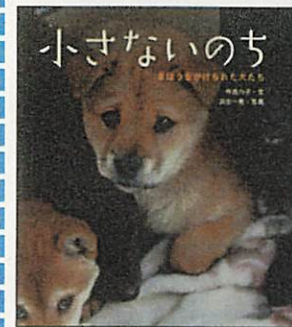
読んだ本『小さな命』(5年)

〈ぼく・わたしの感想〉

わたしはむかしから動物が大好きでした。とくに犬が1番好きでした。ガスで犬ねこをころすのがかわいそうでした。ぱりんママは、とてもいい人だなと思いました。

〈おうちの人の感想〉

この本で命の大切さを学べたなあと感じました。身勝手な人間によってうばわれる小さな命を守っていけるような人になってほしいです。



読んだ本『おもいで星がかがやくとき』(6年)

〈ぼく・わたしの感想〉

私は、おもいで星がかがやくときを読んで、悲しい気持ちになりました。特に、何も知らないうさぎのビナが、大切な人が亡くなったと知り、思い出を思い出してなみだが出るシーンでもとても切なかったです。

〈おうちの人の感想〉

次男が七夕に借りてきた本で、まずこの本の表紙にひきこまれました。子供たちと「キレイだね」と言いながら読んでいくと…冒頭から主人公が大切な人を失ったところからはじまるという衝撃的な展開でした。“失う”ということは何だろう…みんなで考えるうちに胸が痛くなりながらも、なぜか心が優しくなっていく本でした。子供たちと、温かい涙を感じる事ができた時間でした。

